

とやま県プラ



～白鳥：富山市田尻池にて～

CONTENTS

- 2 会長メッセージ
- 3 下期理事会
- 4 シリーズプラスチック業界：提言
- 5 シリーズ海外経済・世情
- 7 会員交流：つどいの場
- 11 総務委員会レポート
- 13 技術委員会レポート
- 16 各種技能検定
- 17 会員企業による景況調査
- 19 プラスチック関連データ
- 20 共創

富山県プラスチック工業会

2019.1 No.43

新年に寄せて

富山県プラスチック工業会
会 長

高 田 順 一



新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかにお過ごしのことと、お慶び申し上げます。昨年は富山県プラスチック工業会の運営に格別のご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。おかげをもちまして当初の行事や事業をつつがなく遂行することができました。本年も何卒よろしく願い申し上げます。

本年は今上陛下が4月30日で退位されます。5月1日に新天皇が即位され新しい年号に改められます。明治、大正、昭和、平成に続く年号はいかにと昨年からいろいろと予想を含めて報じられてきましたが、いよいよ新時代が幕を開けます。新天皇への譲位というかつてない祝いで人心が改まり、希望に満ちた日本に導いてくれることを期待したいと思います。

昨年は大寒波による大雪で北陸はじめ全国的に大変な年明けとなりました。大阪北部地震、西日本豪雨水害、台風21号による強風被害など、自然災害が相次ぎ発災いたしました。9月北海道で電力のブラックアウトが起きた時には、技術立国日本でこんなことが起きるのかと唖然とした思いでニュースに耳を傾けたことを覚えています。会員企業の皆様や関係先にも被害が及んだのではないかと危惧しております。被害を受けられました皆様にお見舞いを申し上げますとともに、速やかな復旧、復興を願っています。今や天災や人災は忘れたころにやってくるものではなくております。必ずやってくる災害にどう備えるかが求められます。皆様

には既にBCPの確立に向けて取り組んでいらっしゃるかと存じますが、それに加えて工業会内において会員企業相互の協力、連携が有効ではないかと存じます。どのようなことができるのか検討の必要性を感じています。

2018年を振り返ると一年を通して景気は緩やかに回復基調にあると報じられました。北陸の景況判断も同様でした。しかし地方の中小企業では、人手不足、原材料価格や物流コストの上昇など経営課題が山積しており、好景気を感じられていないのも事実です。働き方改革関連法の施行や外国人材活用法案の成立など、我々を取り巻く環境は激しく変化いたしました。工業会として引き続き会員企業の皆様と共に課題解決に取り組んで参りたいと思います。

私は会長就任に当たって任期は2期4年と決めておりました。会長職をいかに引き継ぐかをめぐって正副会長会議で協議を重ねてまいりました。会長企業と事務局長の負担の軽減が会長へのハードルを下げることになると思い、上期理事会に委員会の運営改善や理事以上の会費変更などを提案し承認を得ました。そして昨年10月に開催いたしました下期理事会において次期会長に株式会社タカギセイコー八十島清吉社長の就任が内定いたしました。八十島社長の英断に感謝申し上げます。

今年が皆様にとりまして、また工業会にとりまして素晴らしい年になりますことを願い、新年のご挨拶といたします。

下期理事会

【1】平成30年度下期理事会開催

平成30年10月23日(火)ホテルニューオータニ高岡にて、高田会長をはじめ21名の役員が出席し上期事業報告、上期収支決算報告、下期事業計画等の審議を経て、いずれも承認しました。

また、以下の内容について報告がありました。

- ・「次期会長企業・会長職交代」について
- ・「押出成形社内認定制度の申請状況」について
- ・「富山県ものづくり総合見本市2019開催予定」について



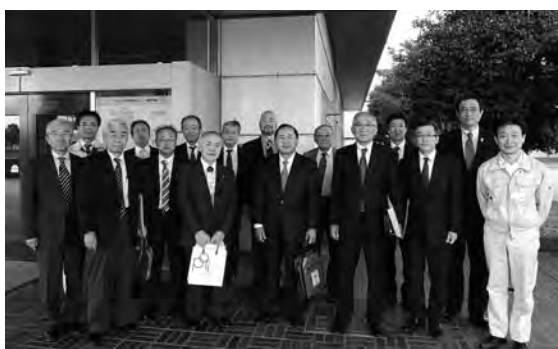
下期理事会

【2】富山県産業技術研究開発センター

「ものづくり研究開発センター」施設見学

下期理事会後に、富山県産業技術研究開発センター「ものづくり研究開発センター」の施設を見学致しました。

まず会議室にて当センターの製品開発拠点としての取り組み、特にセルロースナノファイバー(CNF)を核とした「とやまナノテククラスター」の取り組みや、CNF複合プラスチック材料の開発状況について説明を受け、その後、2班に分かれて施設内に設置されたCNF製品の実証・試作設備や製品機能評価ラボの設備について説明を受けました。



ものづくり研究開発センター

平成30年度 第9回 中部地区業界団体懇談会

10月31日(水)「2018名古屋プラスチック工業展」視察のあと、名古屋国際ホテルにて、(一社)中部日本プラスチック製品工業協会、愛知県プラスチック成形工業組合が幹事となり、「平成30年度 中部地区業界団体懇談会」が開催されました。当工業会からは高田会長をはじめ5名の副会長が参加致しました。

懇談会では、(一社)中部日本プラスチック製品工業協会の横山会長が議長となって、各団体からの活動報告や外国人技能実習生の対応について意見交換がおこなわれました。特に外国人技能実習生の対応には参考になる点が多く大変有意義な懇談会でした。来年度の開催は石川県の予定です。



懇談会



懇親会

マイクロプラスチックの問題から考えたこと

東京工業大学 工学院
機械系 准教授 齊藤卓志氏



2019年を皆様はどのように迎えられましたでしょうか。年末年始の忙しさも一段落した頃ではないかと思えます。さて、昨年を振り返りますと、マイクロプラスチックが環境汚染のキーワードとして広く認識されるようになったという印象があります。7月に米国大手コーヒーチェーンが「プラスチック製の使い捨てストローの使用を2020年までに全世界の店舗で全廃する」という方針を打出したことが大きな話題となりました。また、一連のムーブメントを引き起こした、ウミガメに刺さったストローを抜く動画をご覧になられた方もいらっしゃるかと思います。

マイクロプラスチックの問題は随分と前から専門家の間では知られておりましたし、洗顔料などに含まれるマイクロビーズや、化繊の衣料から洗濯時に抜け落ちる繊維類が問題となりつつあるという講演を2010年頃に聞きました。日本の環境省も平成22年度から、海岸などにある漂着ごみ、海面に浮遊する漂流ごみ及び海底に堆積するごみ（海底ごみ）に関して、量や種類などの調査を行っています。

2016年度に富山湾を含む国内数箇所で行われた調査では、発見された漂流ごみ（計205個）のうち人工物が約65%（132個）、さらに人工物のうちレジ袋等の包装材、トレイ等の食品包装、発泡スチロールといったプラスチック類が上位を占めた、とあります。つまり、ポイ捨てされた、あるいは意図せずに飛散した容器・包装類が、河川や海

に到達することでプラスチックごみになる、という図式が浮かび上がります。容器・包装類のプラスチック材料の比重は1未満であり、形状も薄物が多いことから漂流物になり易いのでしょう。

さて、プラスチック成形加工分野に関わる身としては「プラスチック＝環境汚染の原因」という誤った認識が短絡的に敷衍されることのないよう、機会あるごとに正しい見識を伝えていくことが大切だと思っています。つまり、比強度や絶縁性に優れ、良好な成形加工性を持つ工業材料としての素晴らしさを理解してもらうと同時に、プラスチックがごみ化してしまうのは、使い手の誤った利用法や捨て方にも原因があるという点を理解してもらうことが必要なのです。

炭酸ガス排出規制のように、多くの人々がその重要性を理解しながらも、突発的な天災や資本主義経済の負の一面（コスト優先）が原因となり、その取組みがストレートに進まない課題は確かに存在します。しかし、そこで諦めることなく、将来世代への負の遺産を少しでも減らすために、技術開発や工夫を凝らすことがエンジニアに課された社会的責務なのでしょう。プラスチック成形加工を研究テーマの一つとして長く携わってきたことでもあり、プラスチック材料が持っているポテンシャルを正しく発信していくとともに、プロセスエネルギーの削減と成形品の付加価値向上を図る方策への取り組みを、大学研究の立場からではありますが、今後も続けていく所存です。

創造力と先進性を、豊かな文明のために



株式会社 碓井製作所

〒930-0357 中新川郡上市町正印3の1
TEL (076) 472-4605
FAX (076) 472-2908

人と技術を結ぶパートナー



金森産業株式会社

本社 〒933-8558 高岡市昭和町1-4-1
TEL (0766) 25-0123 (代) FAX (0766) 26-5663
支店・営業所 東京・大阪・富山・金沢・福井
<http://www.kanamorisangyo.co.jp/>

フィリピンの現状と今後の期待

— ダークホースが一気にトップ集団に浮上できるか? —

(公財)富山県新世紀産業機構

アジア経済交流センター長 鎌田慶昭氏

【はじめに】

チャイナ・プラスワンの製造拠点として、また、中国に次ぐ販売市場として、アセアンでの事業展開を検討する企業が業種を問わず増加している。

人気ベスト3は、ベトナム、タイ、インドネシアで、それにシンガポール、マレーシアが続く。

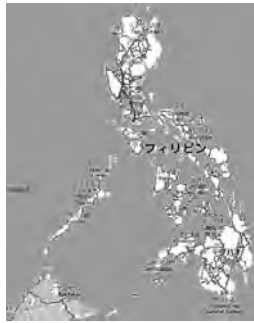
中でもベトナムは、製造拠点としてだけでなく、市場としても注目度が高い。

また、人件費の安いミャンマー、カンボジアも、労働集約型産業の製造拠点候補として検討の対象となるが、フィリピンは市場としても製造拠点としても、なかなか名前が挙がらない。

日本企業のフィリピン進出は古く、今では2輪・4輪、機械、電機・電子、食品、縫製等、約1,500拠点(富山県企業は、(公財)富山県新世紀産業機構アジア経済交流センターが把握しているだけでも5社)を数え、アセアンではタイ、インドネシア、ベトナムに次いで多い。

また、人口がインドネシアに次ぎ2番目に多く、個人消費が経済成長をけん引するこの国は、市場としても魅力的に映る。

まず、フィリピンとはどんな国か、ベトナム、インドネシア等とも比較しつつ、考察を進めてみたい。



フィリピン全国(Google Mapより転載)

【概要・特徴】

人口：1億492万人(2017年)(インドネシアに次ぎアセアン2位。3位はベトナム)

面積：30万Km²(7,000以上の島々からなる)

行政区分：18地方、81州

主要都市：マニラ、セブ、ダバオ

公用言語：フィリピン(タガログ)語、英語(世界第3位の英語人口)

民族：マレー系

政治体制：立憲共和制(大統領制)

元首：ロドリゴ・ドゥテルテ(Rodrigo Roa DUTERTE)大統領

主な宗教：ローマカトリック 80.6%

通貨：ペソ(約52.5ペソ/米ドル)(2018年11月末時点)

名目GDP：3,136億米ドル

一人当たりGDP：2,989米ドル

※インドネシア 3,847米ドル、ベトナム 2,343米ドル

GDP成長率：6.7%(2017年)

※インドネシア 5.1%、ベトナム 6.8%、

一人当たり年間支出：フィリピン平均1,995米ドル/マニラ平均3,205米ドル

※インドネシア平均1,702米ドル/ジャカルタ平均2,607米ドル

ベトナム平均1,230米ドル/ホーチミン平均1,884米ドル

従業員平均給与：マニラの場合 ワーカー 237米ドル、エンジニア 387米ドル

※ジャカルタ...ワーカー 324米ドル、エンジニア494米ドル

ホーチミン...ワーカー 234米ドル、エンジニア 440米ドル

在留日本人数：16,570人

日系企業数：1,502拠点(タイ、インドネシア、ベトナムに次いでアセアンで4番目)

人口が1億人を超え、労賃のわりに一人当たりの年間支出額の多い当国市場は要注目であろう。



マニラ市街(写真提供:川端鐵工株式会社)

出所：経済産業省「目で見えるASEAN-ASEAN経済統計基礎資料(平成30年7月)」、日本アセアンセンター「ASEAN情報マップ」、ジェトロ「投資コスト比較」、外務省「海外在留邦人数調査統計(平成30年要約版)」他

【日本との関わり】

小史

スペインによる本格的なフィリピンの植民地化が始まったのは1571年だったが、日本は1592年(豊臣秀吉の時代)からルソンとの朱印船による交易が始まり、当時マニラに出現した日本人町は、最初に鎖国令が出た1633年まで続いたという。

1898年、第二次キューバ独立戦争への米国の介入がきっかけで米国—スペイン間の米西戦争が勃発、その結果、米国がフィリピンの領有権を取得(パリ条約)し支配下に置いた。

第二次世界大戦時、日本軍は1942年1月のマニラ占領を皮切りに、フィリピンを日本の軍政下に置き、その支配は米国軍がフィリピンを奪還した1945年まで続いた。

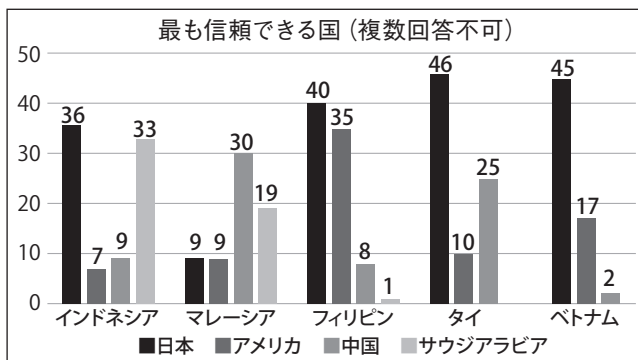
1956年の日比賠償協定締結により、日—フィリピン間の戦争状態は終結し、日本は約1,980億円相当の賠償の他、経済開発借款900億円を20年の間に実施し、日本が同国にとり最大の援助国となるに至った。

親日の国

フィリピンはタイ、インドネシア、ベトナムと並ぶ親日国である。

「最も信頼できる国は?」との質問に対し、「日本」とい

う回答が全体の40%と、タイ、ベトナムに次いで高く、親日国として知られるインドネシアの36%を上回っている。(下表参照、単位%)



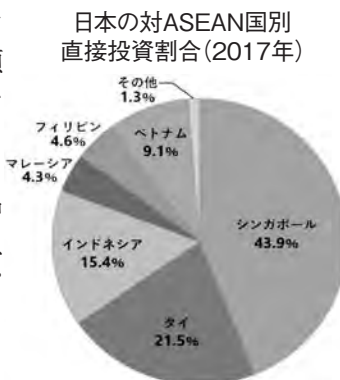
出所:外務省「ASEAN10か国における対日世論調査(平成29年11月)」

日本からの投資

日本企業の拠点数はアセアンで4番目、投資額ではアセアン5番目となっている。

日系企業の活動状況

現地進出日系企業の中で、2017年度黒字見込みという企業が、フィリピンでは80%近くであり、60%台で低迷するタイ、インドネシア、ベトナムよりもはるかに高い数値となっている。



出所:外務省「目で見えるASEAN—ASEAN経済統計基礎資料—(平成30年7月)」

その中で、輸出比率が50%以上の企業の黒字予想が80%、輸出比率が50%未満の場合が79%

進出日系企業の営業利益見込み

	黒字	均衡	赤字
ASEAN平均	64.6	15.5	20.0
フィリピン	79.5	11.0	9.6
マレーシア	73.8	10.7	15.6
シンガポール	66.4	15.9	17.7
タイ	66.0	18.8	15.2
ベトナム	65.1	12.6	22.8
インドネシア	64.6	15.5	19.4
ラオス	40.7	14.8	44.4
カンボジア	35.4	16.9	47.7
ミャンマー	33.8	20.0	46.3

出所:ジェトロ「2017年度 アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」

全地域共通の問題点 (上位5項目、複数回答、各国・地域の回答率)

従業員の前金上昇	品質管理の難しさ	原材料・部品の現地調達難しさ	従業員の賃	競合相手の台数(コスト面で競合)
ASEAN 68.5	ASEAN 56.0	ASEAN 53.7	ASEAN 49.9	ASEAN 47.9
タイ 82.8	タイ 76.7	タイ 82.4	タイ 70.4	タイ 54.0
マレーシア 80.8	マレーシア 71.1	マレーシア 70.8	マレーシア 60.8	マレーシア 52.0
フィリピン 75.2	フィリピン 64.7	フィリピン 70.0	フィリピン 57.1	フィリピン 50.9
ベトナム 68.1	ベトナム 58.8	ベトナム 65.2	ベトナム 42.2	ベトナム 50.6
インドネシア 63.0	インドネシア 57.2	インドネシア 64.3	インドネシア 51.9	インドネシア 47.1
カンボジア 59.3	カンボジア 55.5	カンボジア 54.4	カンボジア 50.5	カンボジア 46.1
ラオス 56.2	ラオス 54.0	ラオス 44.8	ラオス 50.0	ラオス 36.1
ミャンマー 45.8	ミャンマー 50.0	ミャンマー 38.4	ミャンマー 45.7	ミャンマー 34.4
タイ 44.4	タイ 27.5	タイ 27.5	タイ 39.8	

出所:ジェトロ「2017年度 アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」

一方、現地日系企業が抱える問題点(上位5項目)を国別に比較しても、フィリピンは好位置にある。

2002年にフィリピンに初めて現地法人を設立し、各種機械装置の製造を行っている川端鐵工株式会社(本社 黒部市)によれば、「フィリピンは均整の取れた人口構造で若年者数が多く、親日的な事業環境であり、当社の事業も順調に推移している」という。



KAWABATA TECHNO INC.
(写真提供:川端鐵工株式会社)

【フィリピン人の特徴】

スペインからラテンの血を引き継ぎ、アメリカからは英語を教わり、それらがフィリピン人の特異性や強みにつながっている。例えば、フィリピン人ミュージシャンは世界各地で活躍しているが、その卓越したリズム感、音感、表現力に加え、自在に使いこなせる英語力が、各地での生活を容易にし、素晴らしいパフォーマンスにもつながっていると見えよう。(英語力が人材の海外流出につながるという悩みも…)

フィリピンで駐在した経験を持つ方々から聞く、フィリピン人の一般的な特徴は、おおよそ下記のようなものである。

- ・定着率が良い。
- ・若い(平均年齢が24歳)
- ・英語が話せ、意思疎通が楽(コールセンター業務、日本人他の語学留学先としても最適)
- ・技術・技能の飲み込みが早い
- ・仕事よりも家庭を優先する。
- ・カネ離れが良い(給金を貰うとすぐ使ってしまう為、通常は支給を月2回に分ける)

【終わりに】

フィリピンでは、かつて日本商社のマニラ支店長が誘拐された事件があり、最近では多額の詐欺事件に関与した地面師が逃亡した先でもあり、どうもマイナス・イメージばかり私達の脳裏に残りがちで、「フィリピンは怖い」という印象が拭いきれない。

しかし、実際に現地で生活した人達からは、とても快適な生活を楽しんだという話を聞くことが多く、また、事業環境においても、データを見る限りアセアンの中では優等生の部類に入っている。

港湾、道路、鉄道等のインフラ整備の遅れが度々指摘されているが、それを現政権がどう解決するか要注目であり、消費市場の将来性も考え合わせ、当面フィリピンの動向から目が離せない。

より確かな品質を追求し、お客様のニーズにお応えします

KITANIHON



北日本ビニル株式会社

代表取締役 近江 弘

〒930-0862 富山市有沢162番地 TEL (076)421-7713

FAX (076)491-4567

当社の主な事業内容

高周波ウェルダー・高周波ミシン・熱風式溶着機を使用した農業用ビニール（ハウスシート・フィルム）

機械カバー（ターポリン・塩ビ・ポリエチレンカバー）

工場などの間仕切カーテン（ミエール・糸入・透明カーテン）

PEクロスブルーシート（商品名：カナリヤンシート）の規格品・特注品の加工・販売



本社及び工場

当社について

当社は、昭和27年に富山市産業奨励によるプラスチック及び軟質塩化ビニール製造業者として指定を受け、富山市南田町にて創業いたしました。

起業当時はビニール合羽・風呂敷・袋を主力としてお客様にとって身近な製品を県内向けに製造販売いたしました。

昭和40年に富山市西田地方に本社工場を移転、さらに昭和48年に有沢工場にブルーシート自動化工場を新設。ブルーシートのブームに乗って全国販売を展開いたしました。

昭和62年に法人化し、有沢に本社工場を新設。現在に至るまで品質の高い国産軟質フィルム素材を中心に使用した間仕切カーテン・シート・カバー加工・製造を主力に製造販売しております。



裁断機により原反カット



ウェルダーによるビニール溶着

当社の強み

創業以来、大きく変化・発展する軟質塩化ビニールやポリエチレン製品等が顧客ニーズにマッチするよう提案しております。また、長年のノウハウを活かし、熟練の製造スタッフが国産品による材料を使用し、1点1点心を込めて製品の製作を行っております。

お客様のそばで使っていただく身近な製品だからこそ、より確かな品質を追求し、お客様のお役に立てるよう社員一同邁進してまいります。



中継専用ウェルダーによる中継溶着

新しい未来へ進む さらなる可能性に挑みます

キンコー樹脂工業株式会社は、アルミ・ポリチューブ用のキャップを中心としたプラスチック製品を製造しています。



キンコー樹脂工業株式会社

代表取締役 蓮池 泰洋

富山県中新川郡立山町西大森611番地
TEL (076) 463-6660 FAX (076) 463-6661

当社について

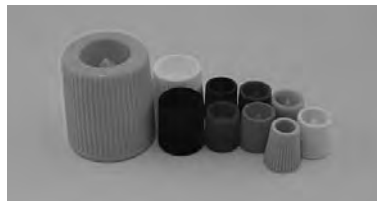
当社は昭和49年12月、法人化に伴いキンコー樹脂工業株式会社と社名を変更し、富山市中屋地内に設立しました。

設立当初より「キャップ」の成形に特化し、品質の安定化、機械設備の安定化、原価低減を目的に取り組んできました。それに基づき、平成26年8月 現住所に新工場を設立移転し、成形・検査の工程をクリーン化にするとともに、製品の全面検査を可能とする画像検査システム装置を開発・導入し検査制度の向上を図っています。

また、受注先からの増産要請の対応や試作専用ラインによる試作開発機能の確立等を実現し、競争力の強化も図っています。

主な製造品目

- 医薬品用の容器及びキャップ
- 化粧品用のキャップ
- キャップのインナー部品 など



医薬品や化粧品などの容器用キャップを製造する上で、材料・製品・機器類等の厳しいチェックにより、高い品質を保ちながら、最適な作業効率と衛生管理などの製作環境維持を徹底しております。



画像検査システム装置



センサー付高さ検査装置



リーク検査機



エアシャワーを各工程間に設置



検査工程



検査工程



画像寸法測定機IM-6700(キーエンス)



デジタルマイクロスコープVHX-5000(キーエンス)

わたしたちは、持てる確かな品質と技術を大切に守りながら、現代のめまぐるしい社会の変化にも即した、さまざまなニーズにお応えできる製品を提供していきます。

お客様第一を信念に社会貢献できる会社を目指す！

株式会社オーエーマシン

代表取締役 岡田 政俊

富山県富山市東大久保304
TEL (076) 481-6551
FAX (076) 481-6552

当社について

当社は、2007年12月に合成樹脂加工機及び周辺装置の販売・整備を事業目的とし設立し開業以来11年を迎えました。

設立当初は、富山市の企業団地に事務所を構え2011年7月に現在の工場を取得し射出成形加工も開始致しました。2018年3月にISO9001：2015認証取得し更なる活躍の場を開拓しお客様第一を信念に社会貢献できる会社をめざします。

また、常に高い目標に挑戦し革新する。物心ともに豊かで公平な働きがいのある会社を目指し邁進します。

当社の強み

射出成形加工を事業に取り込む事により、加工機・周辺機器の販売・整備、成形品の試作・量産等射出成形に関するお客様のニーズに総合的な対応を可能にしました。

営業品目

販売・整備関連（販売からメンテナンス）
電動射出成形機、各種周辺装置、自動化機器

製造部門

射出成形加工の試作・量産

主な設備内容

横型射出成形機8台（60t～180t）
縦型射出成形機3台（40t～150t）
汎用フライス盤1台、汎用旋盤1台



黒田化学産業株式会社

代表取締役社長 黒田康二

本 社 〒930-0069 富山県富山市旅籠町4番2号
TEL (076) 424-3291 FAX (076) 424-3290
新潟営業所 〒959-1288 新潟県燕市燕1233-4
TEL (0256) 62-5105 FAX (0256) 63-9802

当社の事業内容

プラスチック成形材料（熱硬化性樹脂成形材料・熱可塑性樹脂成形材料）の販売
成形機及び周辺機器の販売
特殊化学材料の販売

当社について

当社は昭和31年に松下電工（現 パナソニック）の代理店としてプラスチック成形材料（熱硬化性樹脂）の販売を開始、昭和36年新潟営業所を開設し、今日では、さまざまな化学メーカーのプラスチック成形材料及び関連商品の販売を行っています。

当社の販売戦略

当社の社是は ～お客様に利益を送ろう～

長年にわたりプラスチック成形材料の専門商社としての経験を生かし、常にお客様のニーズに合った材料を提供できるよう営業活動を行っています。

近年では、自動車向けの特殊化学材料の販売や、電子機器向けのエポキシ樹脂の販売、環境に配慮した生分解性プラスチックの販売にも力を入れています。

本 社



新潟営業所



青年部会

●第1回青年部会研修会

8月1日(水)14名の参加者を得て平成30年度「第1回青年部会研修会(経営研修)」を開催致しました。本年度から新部長となった石金氏の開会挨拶のあと講演に移りました。

下村様からは、最初に「IoTとは？」との説明があり、次に農業への関わりと新たな取組みや試みについて披露して頂きました。途中、隣の参加者との意見交換や、実際取組んでいる内容を映像で実感できるなど、受講者にとって有益な貴重な時間となりました。

演 題 「IoTでここまで変わる！スマート農業最前線」
講 師 株式会社 笑農和(えのわ) 代表取締役 下村 豪徳氏



研修風景

★受講感想 (株)北陸エンジニアプラスチック 中野 敏郎

初めて研修に参加させていただきました。下村様のお話はバラエティー豊かで、研修の一時半がとても短く感じられました。第4次産業革命と言われる時代に「IoT」を仕事に活かしてゆくためには「常識の枠」に捉われないこと。今後インターネットに繋がっていく物が爆発的に増え、その間にAIが介在することによってシステムが「自立」してゆく等、お話は具体的でとてもわかりやすかったです。今後の仕事に積極的に活かしていきたいと思いました。



●第2回青年部会研修会

10月3日(水)キタムラ機械(株)様の工場視察として、18名が参加して平成30年度「第2回青年部会研修会」を開催致しました。

北村社長自ら会社概要と工程順に説明をしてくださいました。マシニングの専用メーカーに至った経緯や、高品質、高精度、省エネ・省コストや製造環境(異物混入対策)への取組み、そしてIoT化に向けての独自の管理ソフトを装備したCNC(コンピューター数値制御)装置の説明など、大変関心を引く内容のものでした。



キタムラ機械(株)

★受講感想 小林製薬プラックス(株) 大澤 政昭

この度、キタムラ機械(株)様を視察研修させていただきました。会社説明から工場説明まですべて北村社長様にご説明頂き、まずは北村社長の会社や仕事にかけている情熱がビリビリ伝わってきました。キタムラ機械の歴史から特徴(他社に無い技術)までとても詳細に技術的内容含めて教えていただきました。特に興味を持たせていただいたのはIoTをかなり前から意識し開発したArumatik-Miという保守サービスシステムでした。こういった現状の技術に慢心せず常に時代を読み最先端技術の開発を行う姿勢に今後も更なる成長が期待されると感じました。


 **北日本ビニル株式会社**

本社・工場 〒930-0862 富山市有沢162番地 TEL(076)421-7713(代)
FAX(076)491-4567
有沢工場 〒930-0862 富山市有沢15番地 TEL(076)425-7625

KITANIHON

営業品目

熱硬化性樹脂成形材料
熱可塑性樹脂成形材料
各種成形機、合理化機器

 **黒田化学産業株式会社**

本 社 〒930-0069 富山市旅籠町4番2号
TEL(076)424-3291
新潟営業所 〒959-1288 新潟県燕市燕1233-4
TEL(0256)62-5105

労務研修会

●第2回労務研修会

11月13日(火)13名の参加を得て、平成30年度「第2回労務研修会」を開催致しました。

片境先生から、平成30年6月1日に労働契約法で禁じられている「不合理な格差」に、正社員と非正社員の待遇格差が該当するかを争った2件「長澤運輸事件」「ハマキョウレックス事件」の訴訟判決について、最高裁で下された内容を大変解りやすく説明していただき、受講者の皆さんにとって非常に有意義なセミナーでした。



研修風景

演 題 「最高裁が初判断！ 定年再雇用で賃金減額・契約社員と正社員の賃金格差」

講 師 片境社会保険労務士事務所 部長 片境 一暎氏

★受講感想 ファインプラス(株) 高橋 裕子

今回労務研修会に参加して、賃金の不合理に関する2つの事例での最高裁の判決と、労働契約法において定められている労働者の権利や、同一労働同一賃金の労働者側の意見等について学ばせて頂きました。又、賃金不合理だと労働者側に受け取られないような就業規則であるか今一度見直しをしたいと思います。講師の方の説明が丁寧で分かりやすく、大変興味深く聞くことができ大変勉強になりました。今後の労務作業に是非生かしていきたいと思ひます。



懇親ゴルフ大会

10月13日(土)に八尾カントリークラブにて、34名が参加して懇親ゴルフ大会を開催致しました。

当日は、秋晴れ中、絶好のゴルフ日和となり、優勝の栄冠は阪神化成工業(株)の吉井さん、2位は(株)リッチェルの梶尾さん。3位は同じく(株)リッチェルの広瀬さんでした。ベストグロスも同じく(株)リッチェル広瀬さんでした。

順位発表の度に歓声や拍手が上り、実に和やかに親睦を深める会となりました。

幹事会社の阪神化成工業(株)様には、準備から表彰式に至るまでいろいろとお世話頂き、ありがとうございました。改めまして御礼申し上げます。

順位	企業名	氏名	GRS	NET
優勝	阪神化成工業(株)	吉井 茂雄さん	85	71.8
2位	(株)リッチェル	梶尾 誠さん	88	72.4
3位	(株)リッチェル	広瀬 貴臣さん	81	72.6
4位	(株)リッチェル	酒井 誠さん	92	72.8
5位	(株)タカギセイコー	岩瀬 敏幸さん	92	72.8
ベストグロス賞	(株)リッチェル	広瀬 貴臣さん	81	72.6



研修講習事業

●後期レベルアップ研修会

と き：平成30年10月9日(火)～12日(金)

と ころ：ポリテクセンター富山

参加者：10名

研修風景



樹脂が持つ可能性を追求して、
新・快適を提案していきます。

建築用ガスケット・硬質異形成形品・射出成形品

三協化成株式会社

本社・工場／高岡市福岡町下向田3-1 TEL(0766)64-4000(代)
<http://www.sankyokasei.co.jp/>

自由な風土の小規模技術集団

三晶MEC株式会社

〒936-0861 滑川市中新1029-1
TEL 475-7195(代)
FAX 475-2924
<http://www.sanshogiken.co.jp>

プラスチック成形技術高度化セミナー

●プラスチック成形高度化セミナーⅠ

8月29日(水)に平成30年度「プラスチック成形 技術高度化セミナーⅠ」を29名の参加者を得て開催致しました。開会に当たり、当工業会の副会長 高橋技術担当役員から、是非、有意義な時間にして頂きたいとお話がありスタートとなりました。

5時間のセミナーにも関わらず、年齢を感じさせない高野先生の熱い指導に、受講者の皆様も真剣に聴き入る緊張感のあるセミナーでした。

演 題：「射出成形不良の未然防止の為の成形技術」

講 師：高野技術士事務所 所長 高野 菊雄氏



セミナー風景

★受講感想 東洋化工(株) 尾崎 真哉

まだ業界の経験も浅いですが、任される仕事も増え不良対策の知識を得ることは急務と考えセミナーに参加しました。

金型や機械構造については知識が乏しく知らなかったことや見落としていた不良発生原因が確認出来て大変勉強になりました。

今回の経験を経て直ぐに対応出来る事から実践していき、教わった事を少しでも活かせるように日々努力していきたいと思えます。



●プラスチック成形高度化セミナーⅡ

11月21日(水)に27名の参加者を得て、呉羽ハイツにて今年で2年目となる本格的な金型のセミナー「射出成形の金型について」を開催致しました。

5時間と長時間となるセミナーにも関わらず、休憩のたびに多くの質問があり関心の高さが伺えるセミナーでした。

演 題：「射出成形金型設計の基礎と要点」

講 師：クレスト株式会社

代表取締役 福島技術士事務所 技術士 福島 有一氏



講師 福島先生

★受講感想 三協化成(株) 出口 貴紀

私は日々押出成形の金型設計や試作業務を行っていますが、射出成形にも興味があり、講習会に参加しました。基本的な金型設計から専門性の高い最新の技術まで丁寧に説明して頂き、射出成形の難しさと奥深さを学ぶ事ができました。

今後、射出成形金型の利点を押出用ダイス・サイジング設計に取り入れ、生産効率が上がるモノづくりに努めて行きます。この度は貴重なセミナーに参加させて頂き、誠にありがとうございました。



安全と清潔を売る包装の

 株式会社 **大 樹**

本社・工場 〒939-0418 富山県射水市布目沢201
TEL(0766)53-1331(代) FAX(0766)53-1330
URL <http://daiki.org>

— Plastic 豊かな未来をひらく —

 **太平株式会社**

TAIHEI Co., Ltd.

代表取締役社長 石崎 直樹

〒939-1690 富山県南砺市福光737
本 社 TEL(0763)52-1136
営業部・工場 TEL(0763)52-1216



第12回 技術開発・改善事例発表会&講演会

11月7日(水)呉羽ハイツ研修室にて、27社から63名の参加者を得て、「技術開発・改善事例発表会」を開催致しました。

第1部(司会:技術委員 四辻直也氏)は、技術開発・改善発表会を通じて、技術力・改善力のスキルや能力などを高めることを目的とした4件の発表、そして第2部では講師をお招きしての技術講演でした。

技術開発や改善事例は、各社の特色ある内容の発表であり、開発経緯や成果など非常に興味深い内容の発表会となりました。発表終了後、高橋副会長から発表者一人一人に労いのお言葉と「奨励賞」が手渡されました。

第1部【会員企業事例発表会】

1. 三光合成(株) 次世代技術部 杉野 直人
演題:「セルロースファイバーを利用したインプリント用モールド材料の開発」
2. 戸出化成(株) 技術顧問 山本 登
演題:「フライアッシュ充填プラスチック複合材の開発」
3. 金森産業(株) 事業開発室 松本 祐介
演題:「デジタルマーケティングを活用したlaBase(プラベース)開発概要とそのサービスについて」
4. タケウチゴーセイ(株) 製造部 加藤 裕志
演題:「射出圧縮による不良削減とそのマニュアル化」
「画像処理システムによる検査の精度向上」

第2部【講演会】

講師:京都工芸繊維大学

大学院工芸科学研究科 繊維学系(先端ファイブプロ科学専攻)教授
長もちの科学開発センター長 西村 寛之氏

演題:『インフラ設備の長もちの科学』



開会の挨拶 高橋副会長



発表会の様子



発表された皆様



講演会の様子

モノづくりは、人づくり。
大きな夢を育てたい。



戸出化成株式会社

本社・工場 高岡市戸出西部金屋414
〒939-1114 TEL (0766) 63-5152(代表)
FAX (0766) 63-5099

NEX-IV

大きな金型。小さな成形機。

—— 新型 電気式高性能射出成形機 ——

NISSEI 射出成形機・金型・成形支援システム
日精樹脂工業株式会社
http://www.nisseijushi.co.jp

■本社・工場/〒389-0693 長野県埴科郡坂城町
南条 2110 Ⅱ(0263)81-1050

北陸営業所/〒939-8211
富山県富山市二口町1-10-5
TEL (076) 425-2638(代)
FAX (076) 425-2639

押出成形関連

○押出成形運営委員会

8月22日(水) 平成30年度「富山県プラスチック工業会押出成形技能検定」の日程について打合せがおこなわれ、今年度の受検予定者は、1級6名、2級8名 計14名となりました。

○学科予備講習会

9月15日(土) 午前中は「専門知識」、午後からは「共通知識」と、1級2名、2級8名 計10名が受講しました。

○実技予備講習会

10月2日(火)～10月11日(木)の5日間、(株)トヨックス様の北工場をお借りして、1級6名、2級8名 計14名が受講いたしました。

まず、成形機をはじめ金型やサイジング、水槽、引取機、切断機等の取扱いや安全面について説明があり、受講者は1つ1つの作業を確認しながら検定に向けて緊張感のある講習会でした。

○押出成形技能検定「実技」

10月17日(水)～10月31日(水)の7日間、(株)トヨックス様の北工場にて、1級6名、2級8名 計14名が受検致しました。

今年で12年目を迎え、これも(株)トヨックス様の技能検定実施の環境を整えて頂くなどのご協力のおかげと大変感謝しております。

○押出成形技能検定「学科」

11月10日(土) 富山県総合情報センター 2階第8会議室にて1級 2名、2級 8名 計10名が受検致しました。

○認定式

12月11日(火) 富山技術交流センター3階会議室にて、1級4名、2級5名 計9名が新たな製造者として認定されました。

これまでの合格者としては、1級が24名、2級が117名となります。

(平成30年度合格者)

1級 ・朝日 忠良 ・土屋 達博 ・田嶋 想大 ・千代 誠

2級 ・吉田 亮太 ・向出 智明 ・中田 恭介 ・浜田 和幸 ・今野 慎也

○押出成形「社内検定認定制度」申請について

現在、当工業会内で実施している富山県プラスチック工業会押出成形の検定を、厚生労働大臣が認定する「社内検定認定制度」に申請するため、押出成形運営委員会の皆様と準備を進めています。



ファインプラス株式会社
Fineplas Limited



 北酸株式会社

代表取締役社長 山口 昌広

本社 〒930-0029 富山市本町11番5号
TEL (076) 441-2461 FAX (076) 441-2358
URL: <http://www.hokusan.co.jp>

平成30年度 プラスチック成形技能検定合格状況

射出成形(1級)

	年度	受検申請者	学科			実技			技能士合格者	合格率
			受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率		
富山県	平成26年	46	21	13	61.9%	45	12	26.7%	12	26.1%
	平成27年(前期)	37	16	11	68.8%	37	7	18.9%	7	18.9%
	平成28年(前期)	46	27	15	55.6%	46	2	4.3%	2	4.3%
	平成29年(前期)	34	17	13	76.5%	34	4	11.8%	4	11.8%
	平成30年(前期)	43	20	14	70.0%	41	4	9.8%	4	9.3%
全国	平成26年	1,810	964	691	71.7%	1,595	470	29.5%	491	27.1%
	平成27年(前期)	1,702	899	686	76.3%	1,532	359	23.4%	385	22.6%
	平成28年(前期)	1,703	838	533	63.6%	1,563	421	26.9%	412	24.2%
	平成29年(前期)	1,627	855	640	74.9%	1,471	366	24.9%	372	22.9%
	平成30年(前期)	1,576	764	593	77.6%	1,427	398	27.9%	427	27.1%

射出成形(2級)

	年度	受検申請者	学科			実技			技能士合格者	合格率
			受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率		
富山県	平成26年	63	46	29	63.0%	60	28	46.7%	27	42.9%
	平成27年(前期)	65	58	38	65.5%	59	19	32.2%	19	29.2%
	平成28年(前期)	78	61	36	59.0%	72	38	52.8%	32	41.0%
	平成29年(前期)	86	67	45	67.2%	74	28	37.8%	32	37.2%
	平成30年(前期)	95	72	45	62.5%	85	27	31.8%	26	27.4%
全国	平成26年	3,287	2,169	1,213	55.9%	2,764	1,253	45.3%	1,128	34.3%
	平成27年(前期)	3,132	2,198	1,430	65.1%	2,577	1,108	43.0%	1,135	36.2%
	平成28年(前期)	2,901	2,010	1,128	56.1%	2,424	1,085	44.8%	1,007	34.7%
	平成29年(前期)	2,947	2,174	1,474	67.8%	2,403	1,029	42.8%	1,079	36.6%
	平成30年(前期)	3,020	2,107	1,459	69.2%	2,543	1,060	41.7%	1,081	35.8%

富山県プラスチック工業会認定 押出成形(1級)

	年度	受検申請者	学科			実技			製造者合格者	合格率
			受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率		
富山県 プラスチック 工業会	平成26年	6	6	4	66.7%	4	3	75.0%	2	33.3%
	平成27年	11	8	5	62.5%	6	3	50.0%	4	36.4%
	平成28年	13	10	10	100.0%	5	4	80.0%	4	30.8%
	平成29年	9	6	5	50.0%	6	3	50.0%	3	33.3%
	平成30年	7	2	2	50.0%	6	4	66.7%	4	57.1%

押出成形(2級)

	年度	受検申請者	学科			実技			製造者合格者	合格率
			受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率		
富山県 プラスチック 工業会	平成26年	18	13	11	84.6%	10	8	80.0%	10	55.6%
	平成27年	12	8	5	62.5%	8	5	62.5%	5	41.7%
	平成28年	12	7	5	71.4%	8	7	87.5%	7	58.3%
	平成29年	19	14	10	71.4%	8	7	87.5%	7	36.8%
	平成30年	13	8	4	50.0%	8	4	50.0%	5	38.5%

プラスチックとともに



代表取締役社長 **物部哲郎**

丸喜産業株式会社

本社 〒939-1273 富山県高岡市兼附5858 TEL0766-36-1464 FAX0766-36-1429
 小杉工場 〒939-0351 富山県射水市戸破針原53-13 TEL0766-56-9789 FAX0766-56-9793
 富山工場 〒939-2732 富山県富山市婦中町横野1371 TEL076-466-6888 FAX076-466-6877
 福岡工場 〒939-0135 富山県高岡市福岡町本領58-1 TEL0766-64-0027 FAX0766-64-0028
 立野工場 〒933-0343 富山県高岡市宝来町85

原料販売
カラーリング加工
リサイクル加工
成形機及び周辺機器販売
各種輸出入取引

緊急用 都市型水害対策商品

環境に優しい手袋 製法特許出願済・食品衛生法適合商品

中国特許取得済み **士No袋** シリコンコート

丸和ケミカル株式会社

富山県高岡市野村1636番地1 商品の詳細はウェブをご覧ください。
 TEL0766-22-6672 FAX0766-22-2494 丸和ケミカル 検索

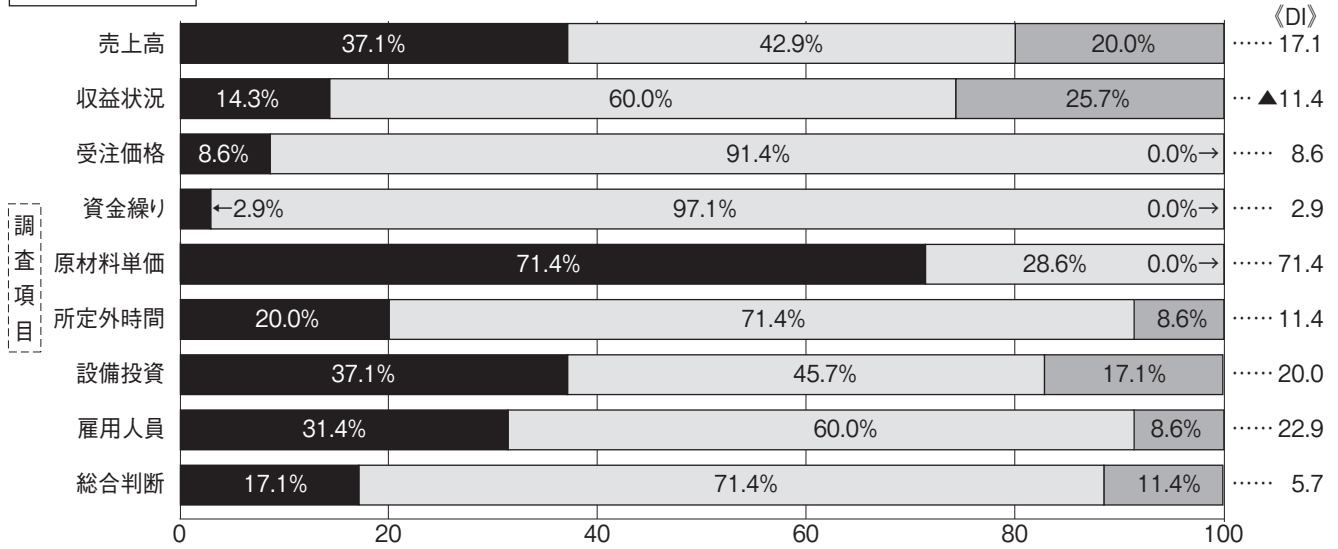
(広告は、企業名の50音順で掲載しています)

会員企業による景況調査

最近の実績

平成30年10月～30年12月/前年同期比

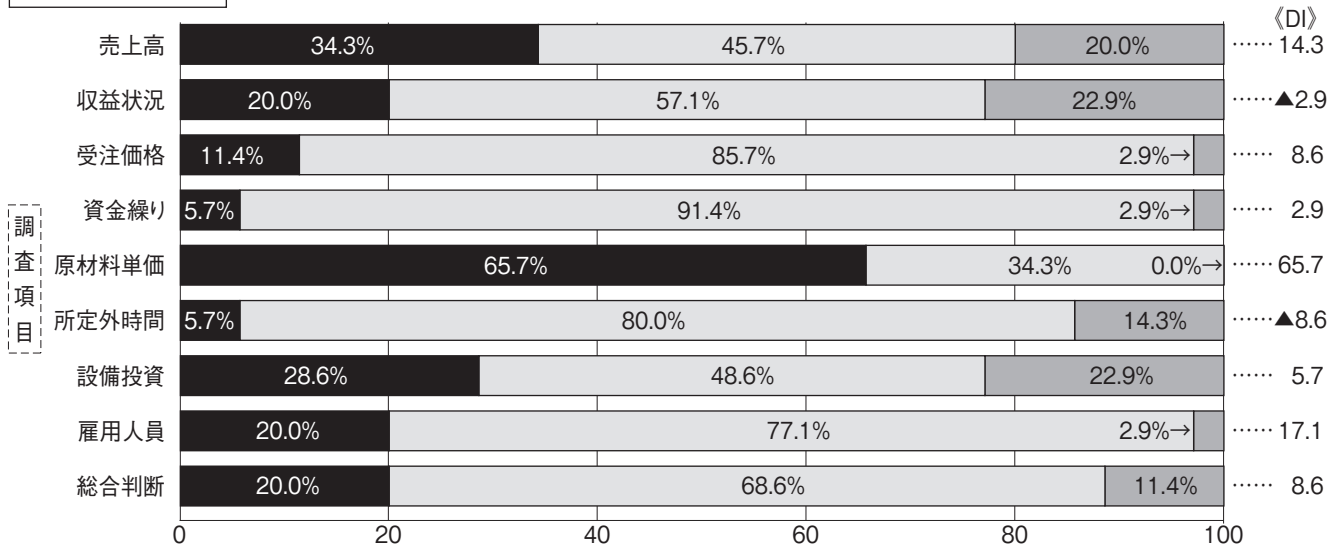
■ 増加・好転・上昇 □ 変わらず ▨ 減少・悪化・低下



今後の見込み

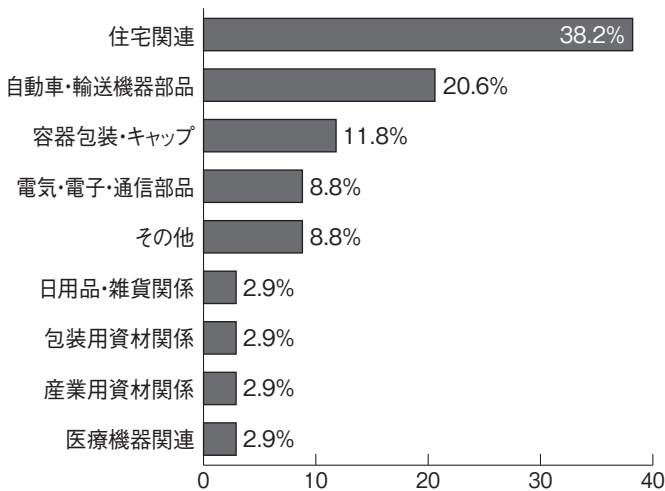
平成31年1月～31年3月/前年同期比

■ 増加・好転・上昇 □ 変わらず ▨ 減少・悪化・低下



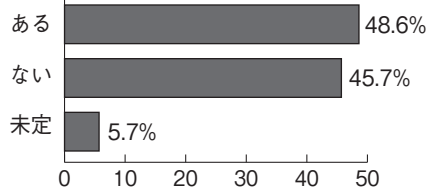
(35社回答)

[1] 売上(取扱い)商品の中で最もウエイトが高いのは?

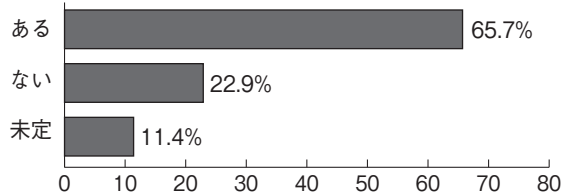


[2] 雇用について

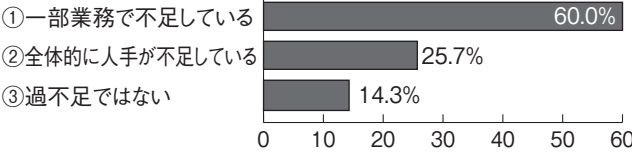
●平成31年4月の新規学卒者の採用予定



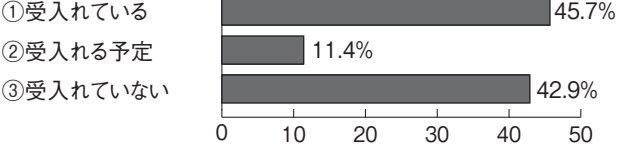
●平成30年10月～平成31年3月の中途採用実績・予定



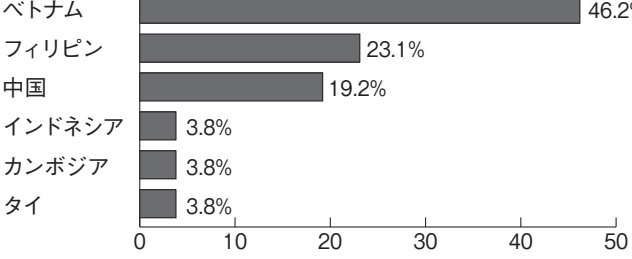
[3] 貴社の人員の充足感について



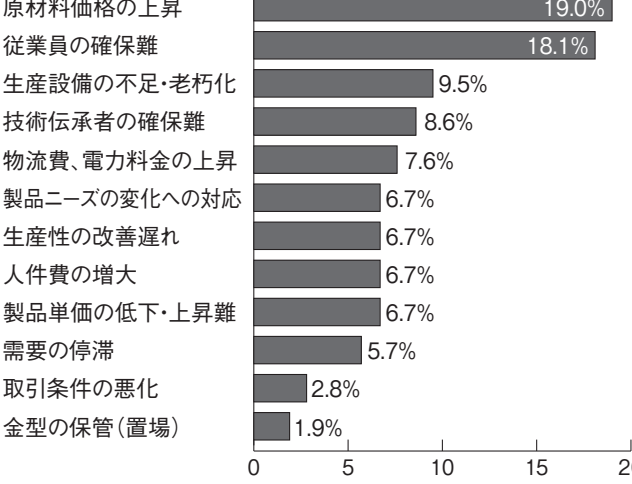
[4] 新しい法律の施行に伴い、外国人実習生の受入れについて



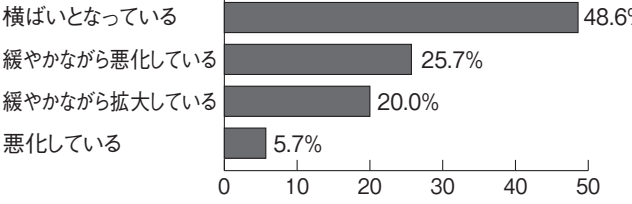
[5] 問[4]の①又は②の出身地は?



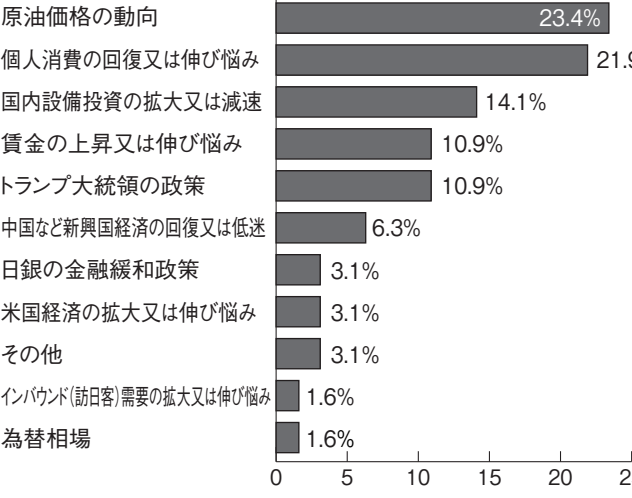
[6] 直面している経営上の問題点について



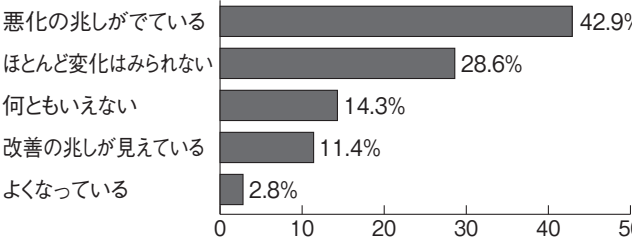
[7] 現在の国内景気をどのように認識されてますか? (前回の調査：H30年6月、7月と比較して)



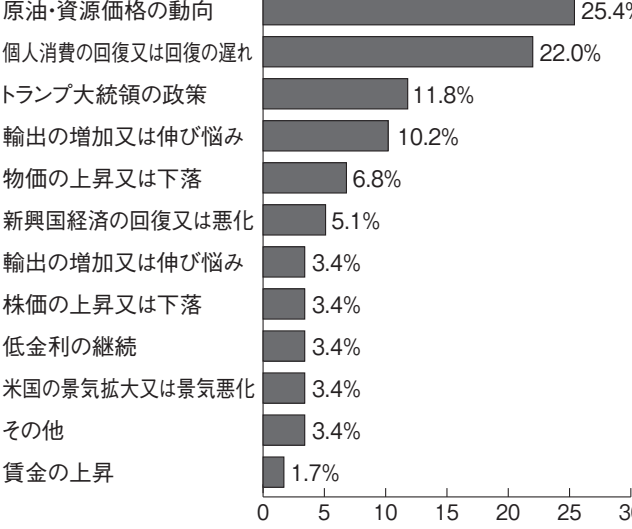
[8] 問[7]のそれぞれの要因について



[9] 今後の国内景気は、現在と比較してどうなると思いますか?(H31年3月頃)



[10] 問[9]のそれぞれの要因について



プラスチック関連データ

加工機械生産実績

金額：百万円

	合計		射出成形機										押出成形機				ブロー成形機	
			計		型締力100t未満		型締力100t以上200t未満		型締力200t以上500t未満		型締力500t以上		本体		付属装置		本体	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額
H25	12,667	176,000	10,765	129,486	3,499	21,742	4,103	37,971	2,514	36,674	649	33,099	449	18,927	806	9,320	647	18,267
H26	13,708	193,780	11,739	143,209	3,593	23,910	4,844	45,297	2,568	38,322	734	35,680	484	22,339	865	10,394	620	17,838
H27	14,434	206,261	12,471	156,333	3,777	25,016	4,871	45,397	3,058	46,587	765	39,333	453	20,187	966	11,797	544	17,944
H28	13,650	196,557	11,702	141,377	3,697	23,898	4,418	39,287	2,841	41,733	746	36,459	411	23,606	887	10,658	650	20,916
H29	16,508	217,490	14,353	161,943	5,092	31,904	5,536	48,749	2,843	41,056	882	40,234	513	17,644	995	16,677	647	21,226
H30.6月	1,477	19,505	1,279	15,214	478	3,127	463	3,850	264	4,149	74	4,088	48	1,290	69	505	81	2,496
前年同月比%	98.6	99.1	101.0	104.5	113.3	111.6	90.4	84.1	106.0	123.3	89.2	107.4	92.3	81.9	52.7	26.0	165.3	154.9
H30.7月	1,415	17,065	1,242	13,914	437	2,764	450	4,093	287	3,813	68	3,244	38	1,261	85	595	50	1,295
前年同月比%	102.5	91.6	103.7	102.4	101.6	99.7	95.7	100.1	122.1	116.6	107.9	93.7	80.9	121.5	116.4	33.6	79.4	58.3
H30.8月	1,313	17,813	1,147	13,414	437	2,790	401	3,847	250	3,581	59	3,196	41	817	78	2,005	47	1,577
前年同月比%	92.7	91.3	96.1	95.9	107.1	108.7	78.9	90.0	130.2	131.1	69.4	72.3	91.1	48.1	72.2	162.3	66.2	60.7
H30.9月	1,411	18,224	1,220	13,348	481	3,303	482	4,317	204	2,772	53	2,956	47	1,925	73	881	71	2,070
前年同月比%	95.2	89.6	94.6	92.5	104.8	117.7	95.8	101.1	85.4	76.2	59.6	79.5	92.2	91.8	115.9	88.2	91.0	73.8
H30.10月	1,506	19,091	1,331	16,364	499	3,266	472	4,111	289	4,221	71	4,766	41	1,347	94	338	40	1,042
前年同月比%	102.6	109.1	101.5	113.6	103.3	106.0	93.3	91.2	118.4	117.3	91.0	148.0	85.4	151.9	134.3	35.7	102.6	83.1

原料生産実績

単位：トン

	計	フェノール樹脂	ポリエチレン	ポリスチレン	ポリプロピレン	メタクリル樹脂	塩化ビニル樹脂	ポリカーボネート	ポリアセタール	PET樹脂	PBT樹脂	その他樹脂
H25	10,579,334	287,515	2,630,960	1,189,070	2,248,199	162,512	1,486,633	309,208	122,958	526,163	159,942	1,456,174
H26	10,570,102	284,080	2,639,042	1,162,553	2,348,567	150,293	1,476,748	303,813	115,658	463,366	174,126	1,451,856
H27	10,798,776	278,253	2,609,408	1,210,479	2,500,500	152,997	1,646,112	294,449	100,108	431,088	188,565	1,386,817
H28	10,715,345	288,578	2,568,979	1,183,264	2,466,311	144,949	1,650,883	292,520	104,181	418,370	171,368	1,425,942
H29	10,560,134	301,939	2,654,815	1,240,813	2,505,540	154,919	1,705,921	310,179	115,184	0	110,121	1,460,703
H30.6月	689,598	26,712	140,493	93,738	129,438	8,080	129,571	27,469	11,614	0	10,749	111,734
前年同月比%	88.1	98.4	79.6	98.6	73.6	79.9	90.4	114.3	112.0	0.0	98.2	102.3
H30.7月	831,253	26,820	203,003	111,417	172,446	14,365	133,694	22,738	11,807	0	11,703	123,260
前年同月比%	97.4	102.3	108.1	101.8	82.8	121.9	94.3	114.8	91.9	0.0	108.4	98.6
H30.8月	884,693	23,539	224,090	109,056	202,150	14,303	142,096	26,328	11,874	0	11,929	119,328
前年同月比%	97.9	101.7	98.1	103.5	95.7	95.8	94.9	98.1	89.5	0.0	113.0	98.9
H30.9月	846,308	25,151	199,768	103,158	192,051	13,657	148,534	29,469	10,284	0	8,692	115,544
前年同月比%	93.9	95.5	90.7	91.5	88.9	104.2	102.7	108.2	88.1	0.0	145.1	94.1
H30.10月	855,818	26,777	200,122	98,250	194,747	11,457	161,916	25,336	2,222	0	5,801	129,190
前年同月比%	97.0	100.7	89.6	91.1	96.3	89.1	110.6	101.6	55.7	0.0	105.5	100.4

製品生産実績

単位：トン

	計	フィルム	シート	板	合成皮革	パイプ	継手	機械部品①～③			日用品・雑貨	容器		建材	発泡製品	強化製品	その他	
								計	①輸送機械部品	②電気通信部品		③その他部品	中空成形容器					その他の容器
H25	5,975,043	2,282,078	242,043	124,575	50,146	480,706	60,783	678,648	485,251	140,425	52,972	297,110	541,007	262,131	305,268	276,250	73,771	300,527
H26	5,708,219	2,197,776	237,113	107,571	53,058	432,057	56,839	644,768	476,051	118,570	50,147	291,262	508,908	273,139	312,066	250,646	70,481	272,535
H27	5,618,053	2,207,678	230,847	111,702	54,062	397,497	43,360	629,166	462,999	114,783	51,384	289,613	499,451	270,801	296,556	248,548	73,915	264,857
H28	5,659,988	2,237,187	219,915	113,163	56,952	387,232	44,136	645,925	483,702	112,949	49,274	298,382	485,244	298,216	293,869	251,038	73,983	254,746
H29	5,808,801	2,286,546	219,856	114,362	56,006	398,821	45,458	672,089	505,463	115,038	51,588	301,609	502,846	327,908	283,809	249,400	77,117	272,974
H30.6月	504,929	198,018	18,172	10,508	5,116	33,780	3,912	57,808	43,451	10,010	4,347	25,295	47,042	31,621	22,142	20,388	6,323	24,804
前年同月比%	98.3	100.1	92.3	101.1	103.9	97.0	102.9	99.8	100.9	95.9	98.1	101.9	91.5	103.8	86.7	98.0	88.2	103.7
H30.7月	510,786	200,634	18,619	10,176	5,020	33,428	3,765	58,153	43,538	10,244	4,371	25,305	47,674	32,065	23,497	21,082	6,194	25,174
前年同月比%	99.9	100.2	101.0	102.7	110.4	92.5	95.1	100.9	101.0	100.7	100.4	100.0	98.1	105.7	96.2	98.1	93.1	105.9
H30.8月	452,480	176,429	16,559	9,221	4,200	28,921	3,298	51,482	38,547	9,000	3,935	23,330	44,216	26,695	20,060	19,818	5,140	23,111
前年同月比%	101.5	100.4	96.5	99.4	98.8	98.9	103.1	103.0	104.0	99.9	101.1	100.9	98.6	124.3	96.1	103.2	88.0	105.9
H30.9月	488,636	193,573	17,291	9,718	4,597	33,836	3,892	55,965	42,477	9,407	4,081	23,347	42,539	31,869	22,212	20,780	5,959	23,058
前年同月比%	97.6	99.3	90.4	95.6	101.7	89.3	95.3	97.1	96.9	98.8	96.0	94.5	101.1	110.5	88.2	97.6	89.7	98.7
H30.10月	522,205	205,445	19,084	10,835	5,383	36,504	3,977	62,019	47,683	9,781	4,555	24,806	42,151	32,750	23,607	23,078	6,605	25,961
前年同月比%	102.1	100.9	103.4	107.7	106.6	98.3	92.9	105.5	106.5	102.3	102.1	95.8	105.6	106.9	96.7	102.0	97.4	109.9

(経済産業省データ加工)

「こどもたちへ」

私が受けてきた昔の学校教育は、こどもに問題の正解を教えるだけで、その意義や価値について教えることはほとんど無かったと思います。

既に決まった答えがあって、それを先生が教え、丸暗記して筆記テストで解答すれば、それでよしとなります。

学校の授業の中で「あるテーマについて、あなたはどのように思いますか？」と質問されることや、みんなで議論・討論することはほとんど記憶がありません。

その結果、自分の言葉で自分の思いを発言する経験が少なく、成績や偏差値だけで進学校が決まり、それで将来の進路が決まってしまうこととなります。

これでは本来持っているはずの人間の可能性を潰してしまっていると思います。

教育の重要な目的として、こどもの頃から、健全な自尊心を育成することがあると思います。今までのような教育では、こどもの自尊心を育成する機会が少なくなってしまいます。

自尊心は、自分に自信があり、自分自身が好きでないと生まれません。

うぬぼれや傲慢とは違い、自分自身の存在を大切にすることで、他人の存在も大切にできるものです。

自分に自信を持つことはもちろん、自分自身が好きで、自分の国が好きだという気持ちから自尊心が生まれると思います。

今日のようなグローバル化の時代では、こどもたちには自尊心をしっかり持ち、自分の頭で考えて、積極的に国内・海外に向けて、発言や行動をする人間になってもらいたいと思います。

編集委員 西村 源信

《編集委員会》

編集委員長 門前 昌志 (阪神化成工業(株))
編集委員 喜多 進 (株)大樹
〃 西村 源信 (三光合成(株))
〃 柴野 恒夫 (株)リッチェル
〃 谷田 雄彦 (株)タカギセイコー



富山県プラスチック工業会

(富山技術交流センター内)
〒930-0866 富山市高田529番地
TEL(076)442-0309 FAX(076)442-0310
URL <http://www.kenpla.jp> E-mail info@kenpla.jp

編集後記

会報「とやま県プラNo.43号」を発行するにあたり、原稿や感想文など関わって頂いた方々には心から感謝いたします。

今回より、当工業会内で実施しております「押出成形の技能検定」についてご紹介します。運営委員会の皆様の活動を是非ご覧ください。また、興味のある会員の皆様ご連絡をお待ちしております。

次号も引き続き、ご支援の程よろしくお願い致します。

事務局長 福島(記)